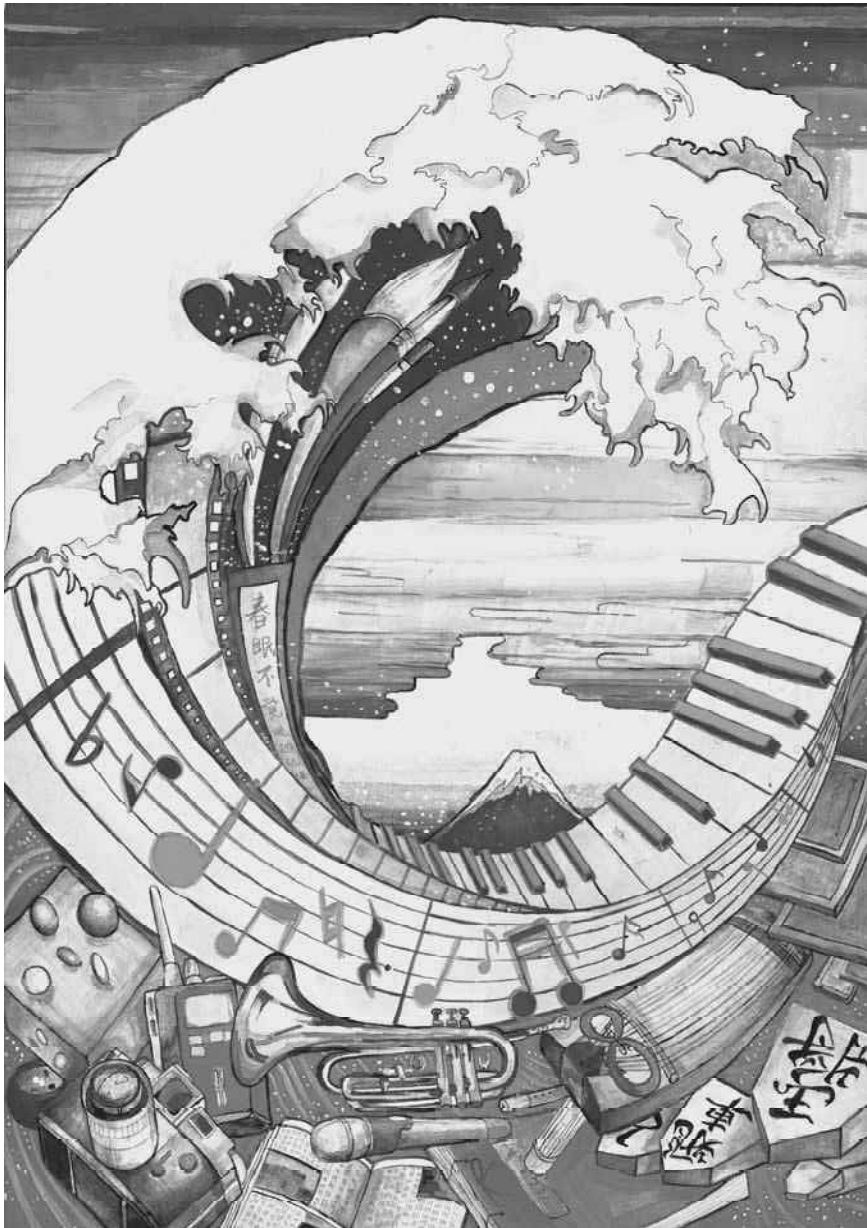


# 静岡県教育振興基本計画

2018年度～2021年度

～“ふじのくに”に根ざした教育の推進～



静岡県・静岡県教育委員会

## 2 「技芸を磨く実学」の奨励

一人一人の能力や適性、意欲に応じた多様で柔軟な教育をより一層展開するため、農林水産業、工業、商業、芸術、スポーツ等の様々な分野において自らの才能を伸ばす実践的な学問としての「技芸を磨く実学」を推進するとともに、郷土を担う子供たちの「生きる道」<sup>12</sup>としての仕事を学ぶ環境づくりに努めます。

また、専門的職業人として社会の変化に柔軟に対応し、地域産業の発展に貢献できる人材の育成を図ります。

### (1) 産業社会の担い手の育成

#### ■本県における現状と課題

- ・本県の2017年3月現在の中学校・高等学校卒業者の就職率はいずれも全国平均を上回っており、児童生徒一人一人の社会的・職業的自立に向け、その基盤となる能力や態度を育む教育を義務教育段階から一層充実することが求められています。
- ・また、児童生徒の発達段階に応じ、働くことへの意欲や関心を高めたり、勤労の尊さを学んだりするなどの望ましい勤労観・職業観を育成するための取組を推進するとともに、ものづくりに触れる機会の創出や幅広いニーズに応える職業訓練の充実等が必要になっています。

#### ■目標指標

指標名	現状値	目標値
児童生徒に望ましい勤労観・職業観を育む教育を実施した学校の割合	小 89.7%	100%
	中 98.8%	
	高 92.8%	
	特 100%	

#### ■施策の内容

ア 地域の特色やライフステージに応じ、学校・地域・企業・研究機関等が連携した、望ましい勤労観・職業観を育む教育や職業に関する知識・技能を身に付けるための職業教育等の推進を図ります。

##### 主な取組

- ふじのくに実学チャレンジフェスタ<sup>13</sup>の開催
- 専門学科等のある高等学校の職業教育への理解推進
- 高校生海外インターンシップの推進

<sup>12</sup> 「武士道」「商人道」と言われるように、富士山のような高い志を持ち、社会に対し責任を果たして貢献する生き方です。

<sup>13</sup> 専門高校等による学習成果発表、研究発表等の祭典です。県内1地区において、農業、水産、工業、商業、家庭、福祉、芸術の7分野で実施します。

- 職場見学・職場体験等の促進
  - 「生きる道」としての仕事を学ぶため、「技芸を磨く実学」の大切さを知る体験、プロフェッショナルな職業や郷土の産業の魅力に触れる機会の提供
  - 地域や産業界との連携強化の促進
  - 高等学校におけるジョブ・サポート・ティーチャーの配置
  - キャリア教育に係る実践的な研修の実施
  - こころざし育成セミナー<sup>14</sup>の実施
  - 各技術研究所の見学や体験等を通じた地域産業に関する学習の支援、研修の実施
  - ふじのくに茶の都ミュージアムでの茶に関する情報発信及び体験メニューの充実
  - 林業体験会や就業ガイダンスの開催
  - 環境学習講座への職員の派遣
  - 小・中・高・大学への講師派遣による出前講座や富士山世界遺産センターでの教育旅行の受入れ等による世界遺産富士山の歴史、文化、自然等の紹介
- [担当：環境政策課、富士山世界遺産課、地域医療課、研究開発課、労働政策課、お茶振興課、林業振興課、建設業課、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課、総合教育センター]

イ ものづくりの楽しさや技能の大切さへの理解促進を図るとともに、ライフステージに応じてものづくりや技能に触れる機会を提供します。

#### 主な取組

- WAZAチャレンジ教室<sup>15</sup>の実施
  - ふじのくに実学チャレンジフェスタの開催（再掲）
  - 高校生ものづくりコンテストの開催に向けた支援
  - 新たな施設・設備の充実を通じた実学の高度化
  - 技能マイスター<sup>16</sup>の活用
- [担当：職業能力開発課、高校教育課]

ウ 多様な年齢層や障害の有無・状況等に応じたスキルを身に付けさせるため、幅広いニーズに応える職業訓練の充実や情報提供を図ります。

#### 主な取組

- 誰もがいきいきと働ける環境づくり
  - 個々の適性や就業希望に応じた多様な職業訓練の実施
  - しずおかジョブステーションの運営と学生の職業意識の醸成
  - 障害のある人に向けた就労相談員の配置と職場定着の支援
  - 障害のある人の相談支援体制の充実や就労支援
- [担当：障害者政策課、労働政策課、雇用推進課、職業能力開発課、特別支援教育課]

<sup>14</sup> 本県の医療を支える人材育成のために、病院で医師から話を聞いたり、体験的な活動を行ったりする事業です。

<sup>15</sup> ものづくりの楽しさや大切さへの理解促進を図るため、小・中学校に技能士を派遣して、実際のものづくりを体験する事業です。

<sup>16</sup> 優れた技能を有し、後進の指導・育成に尽力している現役の技能者を「静岡県技能マイスター」として認定しています。

エ 実践的な職業教育を行う高等教育機関の設置や、新たな成長戦略のための産学官連携による中小企業の人材育成等により、県内産業を支える人材を育成します。

### 主な取組

- 農林大学校の専門職大学への移行による農林業人材の育成
- 青年等の新規就農の促進
- 漁業高等学園における漁業就業者の育成
- 建設業の経営者や技能者を対象とする研修の実施
- 富士山麓医用機器開発エンジニア養成プログラムの開催支援
- レーザーによるものづくり中核人材育成講座の開催支援
- 総合食品学講座の開催支援
- 職業能力開発短期大学校の設置による現場力のある高度な技術人材の育成
- 経験年数に応じた技術習得や低コスト生産システム普及に向けた研修開催
- 企業等と連携した在職者訓練の実施

〔担当：職業能力開発課、新産業集積課、農業ビジネス課、林業振興課、水産振興課、建設業課〕

### 事例紹介③「ふじのくに実学チャレンジフェスタ」

「ふじのくに実学チャレンジフェスタ」は、専門学科や総合学科で農業、工業、商業、水産、家庭、福祉、芸術を学ぶ高校生の学習内容や活躍等について、多くの県民に直接アピールする機会を設けることで、実学に対する理解を促進するとともに、地域や産業界と連携・協働し、地域や本県の産業を担う職業人を育成することを目的として、2016年度から実施しています。

2017年度は、アクトシティ浜松展示イベントホールに県立高等学校40校、市立高等学校2校の計42校の生徒約800人が集い、学習成果の発表等を行いました。また、寄せ植え体験、ミニ鉄道模型の乗車体験、食品サンプル作成等の体験コーナーを設けることで、来場者が実学の魅力を肌で感じられるような工夫も行いました。

来場者からは、「こんなにたくさん専門高校があるとは知らなかった。」などの感想が寄せられるとともに、参加生徒からも「体験指導はとても楽しかった。」「他校の学習内容を知ることができ、刺激になった。」などの感想が聞かれました。来場者はもとより、実学を学んでいる生徒にとっても「技芸を磨く実学」の魅力を改めて実感する場となっています。



コンピュータ制御による生産ラインモデルに見入る子供たち